



開催日 平成27年11月7日(土)
開催時間 10:00~17:30
開催場所 JCHO大阪病院 6階講堂
旧名称:大阪厚生年金病院(大阪市福島区福島4丁目2番78号)

プログラム

【10:00-10:20】(20分)

1. 「日本医用画像情報専門技師会について」～医用画像情報専門技師の役割～
日本医用画像情報専門技師会 会長 守本 京平

【10:20-11:20】(60分)

2. 「標準化導入の意義と実際」～試験に出るかも?標準化・現場で使う標準化～
日本医用画像情報専門技師会 理事 向井 まさみ

【11:20-12:10】(50分)

3. 「医療機関のネットワーク構築について」～ポイントと障害対策～
(元)シスコシステムズ合同会社 公共・医療担当シニア・ソリューション・アーキテクト
兼務 ビジネス・デベロップメント・マネジャー 岩丸 宏明

【12:10-13:10】(60分) 休憩

【13:10-14:00】(50分)

4. 「医療システムのDB構築技術からデータ2次利用まで」～HIS・RIS・PACS連携を考慮したDBとは～
日本オラクル株式会社 データベース事業統括 ソリューション本部 公共SC部 伊藤 義顕

【14:00-14:50】(50分)

5. 「DICOMの活用」～患者個人被ばく線量の管理について～
放射線医学総合研究所 医療情報室長 奥田 保男

【14:50-15:40】(50分)

6. 「システム水平統合による病院情報システムプラットフォーム構築の最前線」
～サーバ・ストレージ統合のためのストレージシステム構築ポリシーの策定～
日本医用画像情報専門技師会 理事 山本 勇一郎

【15:40-15:50】(10分) 休憩

【15:50-16:40】(50分)

7. 「DICOMデータの利活用で重要な5つの背番号を実践的に理解する」
～ブーメランもデータ移行もVNAもDICOMの基本は5つの背番号～
日本医用画像情報専門技師会 副会長 高峰 景敏

【16:40-17:30】(50分)

8. 「大量医用画像発生時代における最適な医用画像保管システムとは」
～外部保存サービスの可能性とVNAを用いたシステムの水平統合～
日本医用画像情報専門技師会 理事 三原 直樹

参加資格: 医用画像情報の管理/構築/運営に係る方・提供するベンダーの方(認定資格等は不問)

参加人数: 100名

申し込み: HPの登録フォームより事前参加登録をお願いします。定員100名で締め切ります。

参加費: 5,000円(冊子2,000円を含む) 学生2,000円(冊子代のみ) 当日会場受付にて集金。

医用画像情報専門技師ポイント(K15-028: 8ポイント)・医療情報技師(15-065: 3ポイント)

主催: 日本医用画像情報専門技師会 (<http://www.jmiis.org/>)

後援: 日本医用画像情報専門技師共同認定育成機構 日本放射線技術学会 医療情報部会
関西医療情報技師会 日本医療情報学会 関西支部 大阪医用画像情報システム研究会
兵庫医用画像情報システム研究会

事務局: 日本医用画像情報専門技師会 (JMIIS) 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-15

問い合わせ: jmiis-office@umin.net